

## 参考資料 (資料5)

### ◎神戸の労組機関紙「労働者新聞」

○ポイント：大正時代の労働運動を関西の現場から今に伝える労働組合機関紙。友愛会関西労働同盟会長であり、第二次大戦前最大のベストセラーを著し、ノーベル文学賞候補となった賀川豊彦が執筆した。

○概要：友愛会関西労働同盟会（1919年（大正8年）創立）の機関紙として1919年3月の第1号から1925年（大正14年）12月の第142号まで刊行された。賀川豊彦が編集兼発行人として執筆し、神戸川崎・三菱造船所のストライキを含む闘いの現場の報告記事が収録されている。また「賃金奴隷からの解放」「工場の人間化」「産業民主の方へ」「団体交渉権論」「労働組合と労働保険」などの賀川豊彦の論説、さらに安部磯雄、河上肇、鈴木文治らからの寄稿がある。

○アクセス：所蔵者の法政大学大原社会問題研究所で原版（一部欠損）を閲覧できる。復刻版は労働資料館、大学や公共の図書館での所蔵がある。大原社会問題研究所は東京都町田市にあり、JR東京駅より要1時間半～2時間程度。（住所：〒194-0298 東京都町田市相原町4342、[TEL:042-783-2305](tel:042-783-2305)、[URL https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp](https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp)）。なお、原紙は他の研究機関にも一部所蔵されている。

### ◎大正10年の神戸川崎・三菱造船所大争議の実写フィルム

○ポイント：第二次大戦前の最大の労働争議について克明に記録した実写フィルム。

○概要：1921年（大正10）に神戸の川崎・三菱造船所で発生した第二次大戦前最大といわれる労働争議を伝える現場での実写フィルム。この労働争議は当時、神戸友愛会の会長であった賀川豊彦が指導し、支援者を含め約3万人が結集した。

○アクセス：所蔵者の法政大学大原社会問題研究所でデジタル版を閲覧することができる。原版は劣化が激しく同研究所で特別に保存されている（非公開）。また、戦後に兵庫県が編集したフィルムによるDVDが市販（不二出版）されており、大阪のエル・ライブラリーでは閲覧のほか会員への貸出も行っている。大学図書館での所蔵があるが、久留米大学では市民への貸出しもある。大原社会問題研究所へのアクセスは前項の通り。



賀川と妻ハル

川崎三菱造船大争議

「死線を越えて」生誕100周年記念碑  
(松沢資料館提供) 全体像

## ◎賀川豊彦の自伝的小説「死線を越えて」

○ポイント：大正時代の労働運動指導者の事実上の自伝であり、第二次大戦前最大のベストセラーとなって労働運動の普及と拡大にも多大な貢献をした著書

○概要：賀川豊彦の代表的著作。キリスト教に入信した多感な少年が関西・日本を代表する労働運動の指導者になっていく過程やその後のさまざまな活動、内面の成長と悩みなどを自伝的小説として著した。昭和前期までに400万部以上を売上げベストセラーとなったが、その多額の印税はすべて、争議の犠牲者への救援、労働学校などの労働者教育、労働会館建設への寄付などに用いられた。賀川豊彦は後にノーベル文学賞の候補（1947、48年）となった。

○アクセス：所蔵館の賀川豊彦記念松沢資料館で草稿（上巻、下巻）と初版同形版（1921年・195刷）を閲覧することができる。同資料館は東京都世田谷区にあり、JR東京駅より50分程度。（住所：〒156-0057 東京都世田谷区上北沢3-8-19、[TEL:03-3302-2855](tel:03-3302-2855)、URL [https://t-kagawa.or.jp/about\\_museum\\_e-mail](https://t-kagawa.or.jp/about_museum_e-mail)）。なお、草稿の一部は賀川の母校である明治学院の大学図書館に貴重資料として所蔵されており（非公開）、明治学院には賀川に関するその他の資料も保管されている。また、「死線を越えて」は大正時代から版が重ねられ、その後の各種の刊行があり、平成時代の復刻版もある。大阪のエル・ライブラリーなどの労働資料館、大学や公共の図書館に所蔵がみられる。

## ◎賀川豊彦生誕100周年記念碑

○ポイント：賀川豊彦生誕100周年を記念して建設された記念碑で、労働運動への貢献が明記されている。

○概要：賀川豊彦の生誕100周年を記念して、1989年4月に実行委員会が設置した記念碑。碑には賀川直筆の「死線を越えて我は行く 豊彦」の銘がある。神戸の賀川豊彦記念館が管理しており、土地は神戸市からの貸与である。

○アクセス：管理する神戸の賀川豊彦記念館から徒歩3分のところに設置されている。同記念館は神戸市にあり、神戸のJR・阪急・阪神三宮駅より徒歩15分程度。（住所：〒651-0076 神戸市中央区吾妻通5-2-20、[TEL:078-221-3627](tel:078-221-3627)、<https://core100.net/annai/access.html>）

## ◎賀川豊彦の経歴と資料館

1988年（明治21年）神戸市に生まれ1905年に明治学院高等部神学科予科入学、1909年から神戸のスラムに住み救貧活動を行う。1914年米国プリンストン大学に留学、同国の労働運動、社会運動に触れる。帰国後、労働運動に入り1919年、友愛会関西同盟会会長となる。1920年に自伝的小説「死線を越えて」を刊行ベストセラーとなる。1921年には戦前最大といわれた神戸川崎・三菱造船所争議を指導した。関東大震災では東京で被災者の支援活動を行った。また、農民組合、生活協同組合、共済組合等の創始者でもあった。その後も社会事業、宗教活動、戦後は世界連邦推進などの活動を行い、ノーベル文学賞、平和賞（1955年）の候補になり、1960年（昭和35年）に没した。

申請書案に含まれる賀川豊彦の労働遺産を示す資料館等には、神戸の記念館（1963年開館）、東京の松沢資料館（1982年開館）がある。さらに、東京都墨田区の本所賀川記念館、兵庫県三木市のコープこうべ協同学苑資料館、徳島県の鳴門市賀川豊彦記念館（2002年開館）があり、これら5館が「賀川豊彦記念館資料館連絡会議」を構成している。